

# まほろば秦野通信

平成30年5月11日

|                  |   |
|------------------|---|
| タイトル             | <b>山女魚（ヤマメ）の住める川を目指して<br/>溪流の女王 山女魚の稚魚を放流</b>   |
| When<br>(いつ)     | 5月13日（日曜日） 午前10時～10時30分   |
| Where<br>(どこで)   | 葛葉川上流 葛葉の泉広場付近（菩提2317-15）   |
| Who<br>(だれが)     | 景釣会（秦野市職員の同好会、佐藤 尚文 会長）1人<br>景釣会OB9人<br>地元自治会役員4人<br>社会福祉法人かしの木会「くず葉学園」の園生・職員約10人   |
| What<br>(なにを)    | <p>見た目の美しさと味の良さから溪流の女王と呼ばれる山女魚（ヤマメ）。清らかな水のある環境でしか生きられず、釣り人口の増加などで、市内でも減少していたことから、山女魚の住める川づくりを目指し、市職員とOBのサークル「景釣会」が例年稚魚を放流しています。</p> <p>今年も稚魚（5～6センチ）約300匹を、葛葉川・金目川に放流します。放流の際、自然の生態系を考慮し、中流域に放流することにしていきます。</p> <p>また、葛葉川への放流は、放流場所に近い「くず葉学園」の園生・職員及び地元自治会と協力して放流します。施設内では人間関係が限られてしまう傾向があるため、放流を楽しみにしている園生とのふれあいの時間を設け、地域に一步踏み出すきっかけづくりにしたいと考えています。</p> <p>例年の活動の結果、最近では、25cmを超える山女魚を見かけたとの情報が聞かれるようになりました。</p> <p>※葛葉川に放流するのは300匹のうち150匹。残りは市内の他の河川に放流。</p> |
| How<br>(どのように)   |   |
| Why<br>(なぜ)      |   |
| How much<br>(予算) | 山北町にある養魚所の協力のもと、景釣会会員から集めた会費で稚魚を購入。   |
| 過去の実績            | 今年で32回目。過去に、秦野市内の酒匂川水系支流にも放流  |
| 今後の取り組み          | 職員の退職により会員が少なくなっているが、景釣会OBや地元自治会、養魚所の協力のもと続けていきたい。  |
| 問い合わせ            | 上下水道局水道施設課 佐藤 電話0463(83)2113  |